

# インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 50 週 ( 2025/12/8~12/14 ) 感染症発生動向調査速報値 ( 2025/12/17 時点) 】

定点医療機関※新規患者報告数： **1,826** 人、定点医療機関当たり **38.85** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科18定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

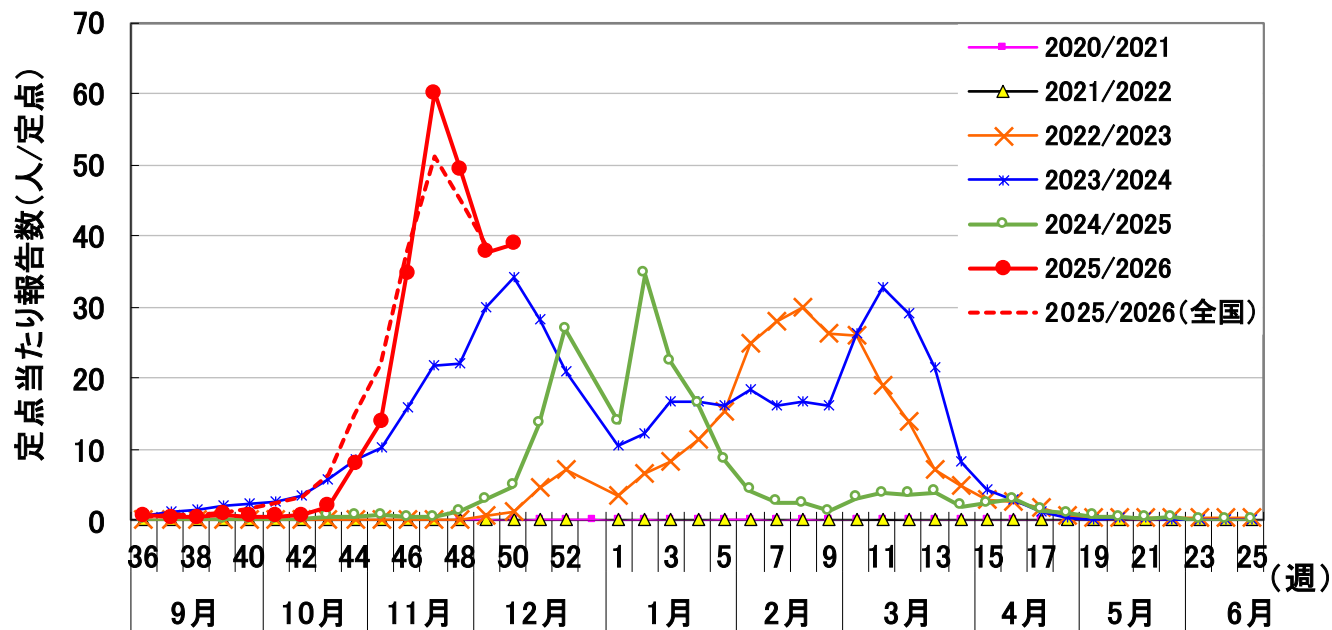
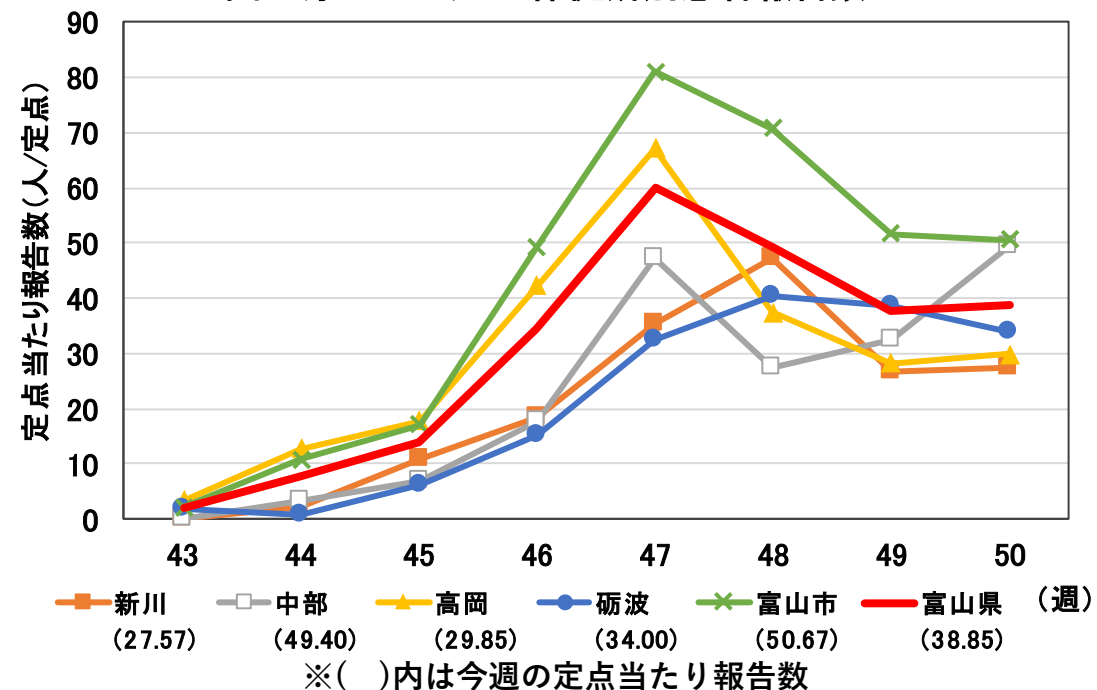
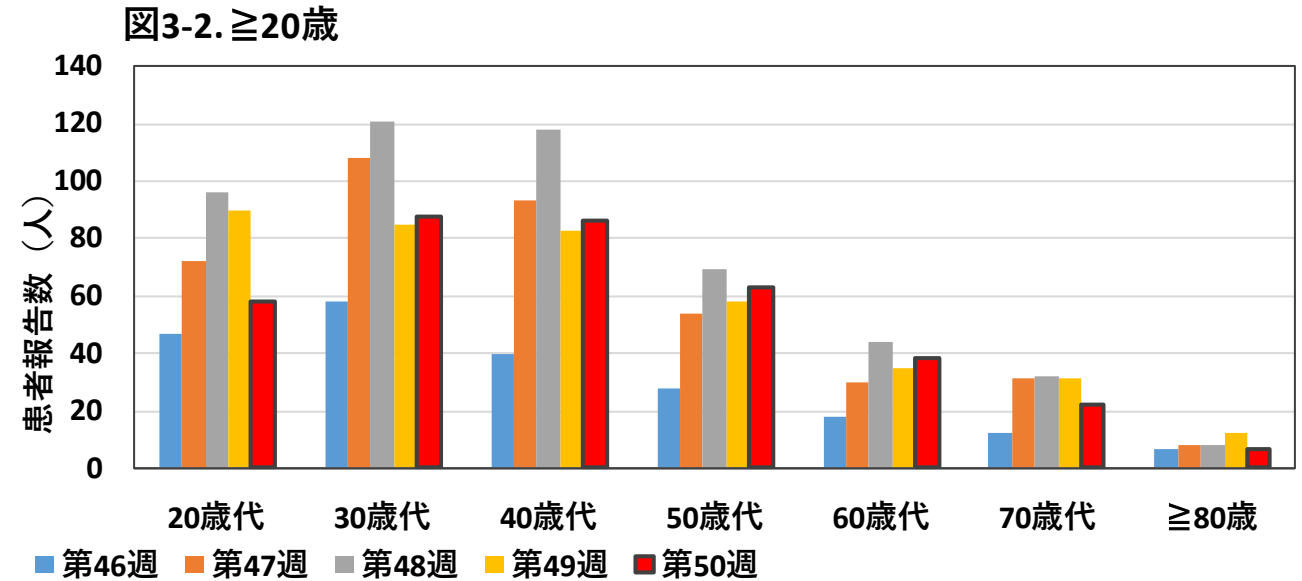
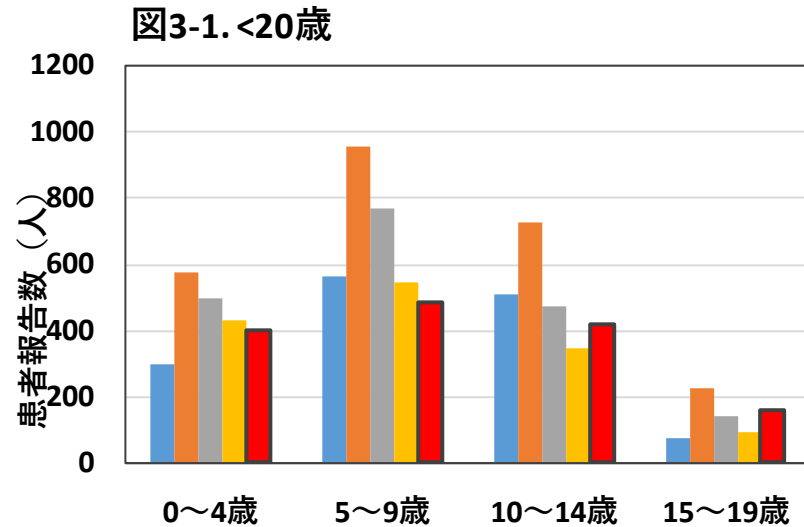


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数は今週38.85人/定点となり、先週 (37.73人/定点) からやや増加した (図1)。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、中部管内で先週から増加、砺波管内で減少、そのほかの管内では横ばいであった (図2)。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 10～19歳、30～60歳代で先週から増加し、その他の年代で先週から減少した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第49週)

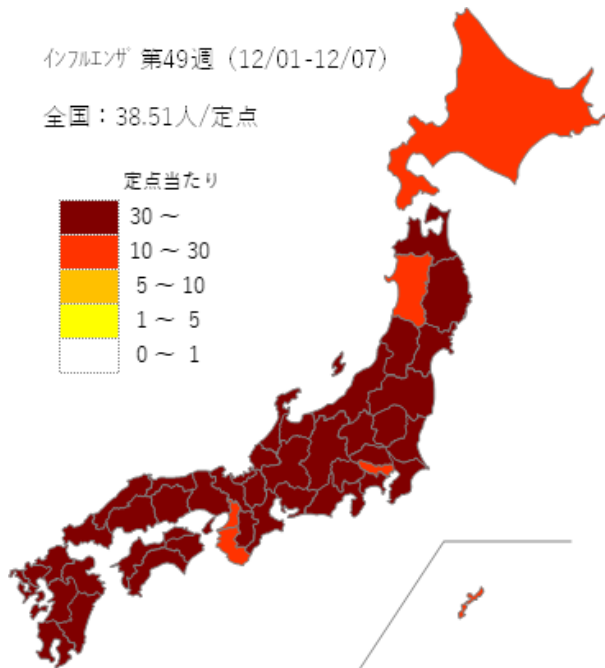


図5. インフルエンザ入院サーベイランス  
患者報告数の推移 (富山県)

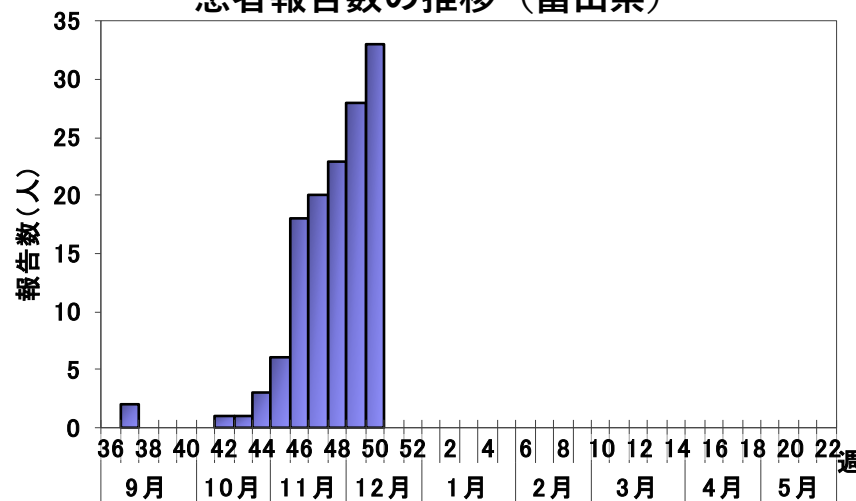
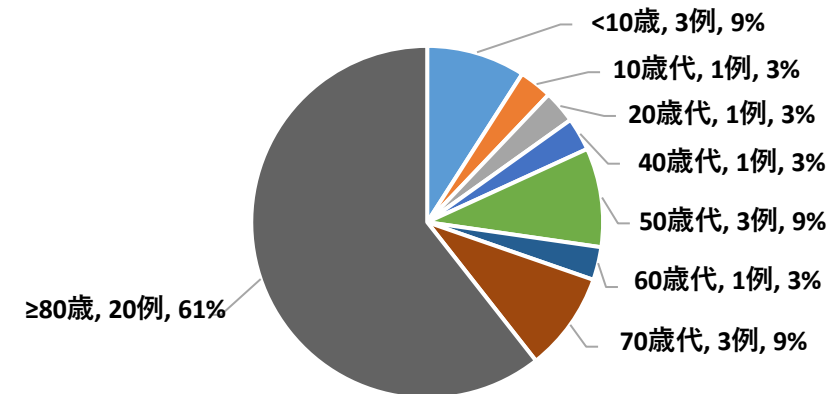


図6. インフルエンザ入院サーベイランス  
年代分布 (第50週、33例)



- 全国では第49週に38.51人/定点となり、第48週（45.00）から減少した。都道府県別では、41府県で警報開始基準の30.0人/定点を超えている（図4）。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週33例の報告があり、先週（28例）から増加した（図5）。
- 入院患者の年代は、10歳代、20歳代、40歳代、60歳代が各1例、10歳未満、50歳代、70歳代が各3例、80歳以上が20例であった。70歳以上が70%を占めた（図6）。
- 第50週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が40件（小学校16件、中学校12件、高等学校10件、その他2件）あった（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。
- 県内の患者報告数は先週から若干増加し、依然として多い状況が続いている。引き続き発生動向を注視する必要がある。